

月にむかう ロボット

～ Google Lunar X PRIZE 続報

Google
LUNAR X PRIZE

2015 年末までに月面に探査ロボットを送り込み、高精細画像の地球への送信などに成功した最初のチームに 2,000 万ドル（約 16 億円）の賞金が出る大会「グーグル・ルーナー・X プライズ（Google Lunar X PRIZE）」。昨年末に大会への参加登録が締め切られ、参加チーム数は世界 17 か国の合計 29 チームに決定した。各チームは技術開発のみならず、プロジェクトを成功に導くのに必要な資金調達でも火花を散らす。ロボコンマガジン 2008 年 6 月号でこの大会について最初に報じてから間もなく 3 年。今回はその続報をお送りする。

かげき のりこ
影木 准子（米国在住ジャーナリスト）

グーグル・ルーナー・Xプライズの概要

ロボットを使って月面を 500m 以上探査し、ルールで定められた高精細動画・写真を地球に送信できた最初のチームに優勝賞金 2,000 万ドルを授与する。2 位は賞金 500 万ドル。また、月面における 5km 以上の走行や夜間のロボット運転、水の検出といったタスクを実現した場合には、ボーナス賞金が最高 400 万ドル準備されている。

2007 年 9 月に始動し、賞金を獲得できる期限は 2015 年末。

参加チーム数は 29。チームを国籍別に分けると、米

国が 12 チーム、ドイツが 2 チーム。このほか、イタリアとデンマーク、オランダ、スペイン、ロシア、ハンガリー、ルーマニア、イスラエル、マン島、中国、インド、マレーシア、ブラジル、チリ、カナダからそれぞれ 1 チーム。

開催する X プライズ財団は、コンテスト形式で世界に技術革新をもたらそうと活動する米国の非営利団体。様々なスポンサーをバックに複数の大会を開催しており、民間主導による月面探査を目的とした今大会はグーグルがスポンサーになった。

<チーム一覧>

チーム名	機体名前	国籍	チームの特徴	ホームページ
Astrobotic Technology	Red Rover/ Artemis Lander	米国	カーネギー・メロン大学の研究者が中心。打上げロケットを予約済みで、2013 年 12 月の打上げ予定。	http://www.astrobotictech.com/
Next Giant Leap	未定	米国	マサチューセッツ工科大学の研究者らが中心。「ホッピング型」の探査機を開発中。	http://www.nextgiantleap.com/
White Label Space	未定	オランダ	多国籍の研究者から成る。日本からは東北大学のグループが参加。	http://www.whitelabelspace.com/
Moon Express	MoonEx-1	米国	NASA の ILDD 契約を受託。サンフランシスコ市に本拠。	http://www.moonexpress.com/
Rocket City Space Pioneers	未定	米国	アポロ計画の中心となった NASA 研究所のあるアラバマ州ハンツビルチーム。	http://www.rocketcityspacepioneers.com/
SELENE	SELENE 1/ LuRoCa 1	中国	上海在住のドイツ人が、中国の大学生をまとめて結成したチーム。	http://www.seleneteam.com/
Selenokhod	Selenokhod	ロシア	世界で初めてローバーを月に送った旧ソ連のプロジェクトが名前の由来。ローバーを 2 台使用予定。	http://www.selenokhod.com/
FREDNET	未定	米国	オープンソース方式で世界中の研究者・技術者の協力を得て、小型・低コストの探査機を開発中。	http://www.teamfrednet.org/
Part-Time Scientists	Asimov 1	ドイツ	ベルリンを本拠とし、世界各地から約 70 人のメンバーが参加。ドイツ航空宇宙センター (DLR) が協力。	http://www.part-time-scientists.com/
ARCA	European Lunar Explorer (ELE)	ルーマニア	今大会用に超音速機を開発中。高軌道で機体からロケットを発射する計画。	https://www.arcaspace.com/